

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

(別紙4)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年7月4日

【評価実施概要】

事業所番号	874305006		
法人名	有限会社 田園福祉企画		
事業所名	グループホーム はなの郷		
所在地	猿島郡五霞町江川4024-2 (電話) 0280-80-0873		
評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成20年3月11日	評価確定日	平成20年7月4日

【情報提供票より】(平成20年2月16日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成18年5月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9人 人
職員数	9人	常勤	4人, 非常勤 5人, 常勤換算 3.2人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り	
	2階建ての	2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	56000~59000 円	その他の経費(月額)	1000+実費 円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	300 円	昼食 400 円
	夕食	400 円	おやつ 0 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(平成19年2月16日現在)

利用者人数	8名	男性	2名	女性	6名
要介護1	1	要介護2	4		
要介護3	2	要介護4			
要介護5	1	要支援2			
年齢	平均 85.5 歳	最低	74 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	芝田医院 山中歯科医院
---------	-------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>開設して2年目の施設である。 地域に根ざして開かれたグループホームを目指して通所介護サービスの新設を進めている。 施設の周りに大規模なブルーベリー農園をつくり、野菜作りを活用して地域住民とのコミュニケーションを図ることに力を入れている。</p>

【重点項目への取組状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 運営理念を掲示し改善している。 月2回のミーティング時、理念について話をしているが利用者の生活状況を家族に報告する広報誌の発行は中断している。 事業所代表とともに管理者・職員が利用者の生活を安全に守るため、介護・接遇のマニュアル作成を提案する。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価・外部評価の意義を理解し、地域との関わりを重点に取り組んでいるが、課題への対応は改善できるところから取り組むことを期待する。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議の開催までに至っていないので、行政関係者や地域の人、利用者の家族を委員とする運営推進会議を2ヶ月に1回開催し、グループホームの広報に努めるとともにサービスの質の向上を図ることが望まれる。 施設代表者は行政を訪問し、協力のお願いや指導を受けながら、地域密着型の施設としての機能を生かす計画を進めている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 利用者の健康状態や日常の様子は家族の面会時に報告し、意見を聞いている。 報告内容は申し送りノートに記録している。 地域密着型の施設であり、入居者は地元の人が多く、意見を言える状況である。 意見を介護計画作成に反映させることが望まれる。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域の小学生や、ボランティアの方々が来所したり、地域の祭礼への参加や敷地でできた野菜を近隣に配るなどして、地域との交流を図っている。</p>

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域との交流を通し市民生活の継続を支援すること」を理念として、地域に根ざした開かれたグループホームを目指し、環境や利用者の生活歴を活かしながら、生き生きと生活がきるよう支援している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を日々の生活に生かせるようホールの正面に掲示し、実践に向けて取り組んでいる。	○	運営者は月2回のミーティング時、理念について話をしているが職員全員が理念を共有し、日々の生活の中で理念にそったサービス支援を深めていくことを期待する。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の小学生やボランティアの方々が来所したり、地域の祭礼への参加や敷地でできた野菜を近隣に配るなどして地域との交流を図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価・外部評価の意義を理解し、地域とのかかわりを重点に取り組んでいる。	○	今後は外部評価の意義を職員一同で理解するとともに、課題への対応は改善できることから取り組むことを期待する。

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の開催までには至っていない。	○	行政関係者や地域の人、利用者の家族を委員とする運営推進会議を2ヶ月に1回開催し、グループホームの広報に努めるとともにサービスの質の向上を図ることが望まれる。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	施設代表者は行政を訪問し、協力のお願いや指導を受けながら、地域密着型の施設としての機能を生かす計画を進めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者の健康状態や日常の様子は家族の面会時に報告し、意見を聞いている。 報告内容は、申し送りノートに記録している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	地域密着型の施設であるため入居者は地元の人が多く、意見を言える状況である。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開設以来職員の異動はなく、利用者は安心して介護サービスを受けている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修は管理者が参加して、研修内容を職員に報告している。	○	一般職員の研修を実施してスキルアップにつなげる取り組みが望まれる。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流はない。	○	地域の同業者との交流を深め、互いに学習したり、情報の交換を行うことを検討することが望まれる。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して入居することが精神の安定となり、他の利用者への影響は少ないが、いきなりサービスを開始するケースがあり、馴染みながらサービスを利用する環境づくりまでには至っていない。	○	体験入所などの利用を勧め、自宅や入院先などを職員が訪問して本人や家族との関係を構築し、馴染みの環境をつくった上での入居体制づくりが望まれる。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者の生活歴を把握し、利用者の出番をつくれるよう場面づくりをしている。また、利用者の体験上の知恵や教えを学ぶ関係を築いている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活のかかわりの中で声をかけ、思いや意向の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画は月2回の定例ミーティングで介護職員が中心となって作成しているが、利用者の家族から意見を求めるまでには至っていない。	○	利用者の家族に情報の提供を行い、介護計画作成に協力を得るとともに、意見を介護計画に反映されることが望まれる。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	6ヶ月毎に介護計画を見直すとともに、状態の変化に応じた見直しを行っている。	○	介護計画に家族の押印や作成日漏れが散見しているため、今後は家族の同意に基づいた介護計画作成が望まれる。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	地域に密着した開かれたグループホームを目指し、平成20年にデイサービスを開設予定である。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	囑託医が月2回往診に来るほか、利用者のかかりつけ医にも適切な受診が出来るよう支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ターミナルケアについては今後の課題として検討している段階である。	○	終末期に対する対応方針を定めるとともに、家族や身元引受人との話し合いにより、方針を共有することが望まれる。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の話に耳を傾け、プライバシーを尊重した対応をしている。	○	個人情報保護法の理解に努め、職員の意識向上のためにマニュアルを作成し、学習する場をつくることや個人情報指針の掲示をすることを期待する。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活歴を入所時に聞き取り、フェイスシートやアセスメントにより介護計画に反映させるとともに、その人らしい生活を支援している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材は業者から取り寄せているほか、ホームの畑で採れた野菜を使った料理を組み合わせ、利用者の状態に合わせた食事を提供している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は基本的には週2回と決めているが、本人の希望を優先に支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ホーム敷地にある畑で収穫した野菜の下ごしらえなど、利用者が役割を持って生き生きと生活できるよう支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出希望者は少ないが、入居者一人ひとりの希望にそって支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	利用者の2階の居室は鍵をかけ、エレベーターで昇り降りをしている。 下の玄関は施錠している。	○	建物の構造上の問題から外に出ることが難しい状況になっている。 やむを得ない面はあるが、個人の尊厳を尊重するためにも施錠についての工夫を提案する。

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	開設後防災訓練は未実施である。	○	年2回は消防署の立会いで訓練することが義務づけられているので、地域の人びとの協力を得ながら実践につなげることを期待する。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの食事や水分摂取量を把握するとともに、栄養状態を確認している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日当たりの良い共有空間に植物の鉢植えを置き、窓から利用者の見慣れた景色が望め、居心地良く過ごせるよう工夫をしている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は利用者の好みに合わせ、使い慣れた馴染みの持物を持ち込んで安心感に配慮した部屋となっている。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。